

スタンダード現代文(高2・3生対象)

小柴 大輔 先生

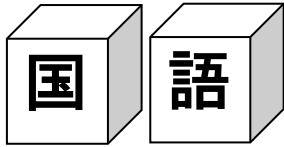
○ 入試用受験国語の対策は高2から！これ、基本です！

○ ひとは16歳や17歳になったからといって自然に論説文を正しく読めるようになるわけではありません。文章の正しい理解のためには指導と訓練が必要なのです。さらに小説＝物語文にも正しい読み方が存在します。しかも「論説文」も「小説」もどちらも「説明」であるかぎり、共通した「読み方」が使えます。それが「対比・比較の発見」という方法です。詳しくは授業でお話しますが、私の名前、小柴大輔も「小←→大」の対比です！

難関と呼ばれる諸大学の良質な入試問題を素材に、高2生の学習にふさわしいように選別、加工をほどこして教材にしています。さらに、「漢字・文学史・四字熟語からなる知識モノ小テスト」と「現代文単語確認テスト」も加え、入試現代文対策として盲点をつくらない構成です。

大学受験用の国語対策を高3の4月スタートを待つ人がいますが、待っていてもいいことはひとつもありません。早くから正しい方法で学び、国語でバリバリ高得点をとってしまう自分を想像してみてください！

★ 1学期「スタンダード現代文」受講者は必修となります。



文章読解入門

無学年講座

朝倉 吏 先生

- 問題文が何を言っているか、全然分からない……
- 長い文章題を見るだけで、頭を働かせることが止まってしまう……
- そもそも教科書が頭に入っていない……

上のどれか1つにでも心当たりのある人は要注意！！

令和時代の大学入試は、全科目を通して「問題文の大幅な分量増加」が特徴の1つ。例えば、共通テストはセンター試験と比べると2倍(!?)近くも問題の文章量が増えています。したがって、国語を受験で使うかどうかにかかわらず、長い文章を読み、整理し、理解する力が受験生全員に求められています。

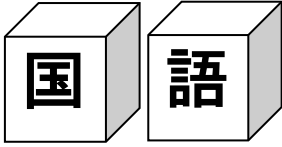
また、文系科目はもちろんですが、国公立2次・私立大入試の理系科目でも膨大な量の問題文を出題する大学が急増しています。文章を読むことに苦手意識を少しでも持っている人は是非、受講してください。文系・理系、志望大学、学年、そして何よりも勉強の得意・不得意は不問です。

夏期講習は、1学期に学んだ内容を復習しつつ、新たな読解の視点も学習していくので、夏期講習からの受講も大歓迎です！休講期間に眠ってしまった読解力を覚醒させよう！！

※本講座内容は「現代文」とは異なり、教科書や参考書、問題文を正確に読めるようにする講座です。

評論や小説の本格的な読解に関しては、「スタンダード／ハイレベル現代文」の受講をおすすめします。

★ 1学期「文章読解入門」受講者は必修となります。



- スタンダード古文
- 古文文法(映像)

**スタンダード古文(高2・3生対象)**

朝倉 吏 先生

- 難関国公立・私立大学の現役合格を目指すための【**基礎力 完成**】を目的とした講座です。
- テキストは、選択式問題に対応できる古文読解を目指すために、共通テストの古文および有名私立大学の入試問題を扱います。したがって、【**共通テストのみで古文が必要な人**】も安心して、受講してください。
- 1学期通常授業で体感してもらった古文読解の【**基本姿勢**】と古文読解の【**基礎力**】の再確認及び完成を目標にしています。
- 夏期講習からの受講も大歓迎です！授業は基礎的な内容が中心ですが、不安のある人には個別でフォローしますので、安心してください。

※「文法」に自信がない、得点源にしたいという人は、『古文文法』もあわせて受講してください。

★ 1学期「スタンダード古文」受講者は必修となります。



**古文文法(映像)**

**無学年講座**

朝倉 吏 先生

- 基本文法を網羅し、文法問題のみならず古文読解にも活かすことを目指した講座です。
- 「古文文法」攻略のポイントは【**カタチの把握**】に他なりません。どのような点に着目するのか、どのように判断するのかを、厳選した入試問題の演習で、確実に身につけていきましょう。
- この講座は、Part 1 ~ 3 の3セットで構成しています。自身の学習進度に合わせて、受講することができます。

◆講義内容◆

Part1

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| ① 活用形<基礎>/動詞            | ② 形容詞・形容動詞/係助詞               |
| ③ 接続助詞/助動詞「き・けり」/助動詞「ず」 | ④ 助動詞「つ・ぬ」/助動詞「たり・り」/識別「ぬ・ね」 |
| ⑤ 助動詞「る・らる」/識別「る・れ」     |                              |

Part2

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| ① 助動詞「す・さす・しむ」/活用形<実践>   | ② 2種類の「なり」/助動詞「めり」   |
| ③ 識別「なり」/識別「に」           | ④ 助動詞「べし・まじ」/助動詞「まし」 |
| ⑤ 助動詞「む・むず・じ」/助動詞「らむ・けむ」 |                      |

Part3

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| ① 識別「なむ」/識別「らむ」/識別「し」 | ② 格助詞/副助詞             |
| ③ 終助詞/呼応の副詞           | ④ 敬語(1)<種類・訳出・敬意の方向①> |
| ⑤ 敬語(2)<敬意の方向②・特殊な敬語> |                       |

# 小 論 文

■ 真夏の小論文

真夏の小論文

無学年講座

小柴 大輔 先生

○ 主なターゲット:慶應義塾大学のほぼ全学部／早稲田大学(スポ科)／上智大学哲学科(新聞学科など)／  
国公立大学／医学医療系／推薦AO入試

いまや難関大合格のキーワードとなった小論文。でも、みんなが敬遠しがちな小論文。もったいないぞ!! この講座で小論文は「書ける！」ようになります。「読むだけ」「聞くだけ」「ぶっつけ」の小論文とは違うよ!これで、第一志望群の幅もぐっと広がり、後期日程まで視野におさめ、入試全体の展望も広がります。

**アイディアの出し方そのものから指導、そのうえモーレツかつ具体的な赤ペン添削**(「炎の文章教室」や「灼熱マグマの文章教室」と人は呼ぶ)と書きっぱなしにしない改善版作成により、小論文にたしかな手ごたえをつかもう。授業では、みんなが書いたものをプリントして配布し、講評解説します。視点の多様さを知ると共に、成功と失敗の教訓を共有していきます。**だから伸びる!**

テーマ・課題は、人文社会科学から生命科学・生命倫理・医療倫理まで広範です。「こんなテーマは自分の志望学部と関係ないよ」なんて思うようでは、それ自体小論文上達の障害です。現代社会のさまざまなトピックに関心をもとう。さらに、9月以降、AO入試や指定校推薦・自己推薦入試などに対応できる(使える)課題も用意しています。夏から小論文をはじめめる人も大歓迎(ちゃんと入門にふさわしい課題も準備しています)。考える、表現するってたのしいよ!

※講座最終日はグループ・ディスカッションの練習をする予定です。

★ 1学期「包括的小論文」受講者は必修となります。